

平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月26日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL https://www.nicca.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	37,181	4.8	1,715	8.9	1,826	12.1	2,081	128.8
29年12月期第3四半期	35,494	10.5	1,574	42.3	1,629	48.4	909	331.1

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 2,841百万円 (101.3%) 29年12月期第3四半期 1,412百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	132.64	—
29年12月期第3四半期	57.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	58,197	23,767	34.9	1,294.34
29年12月期	55,094	21,614	34.3	1,206.05

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 20,313百万円 29年12月期 18,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
30年12月期	—	8.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	3.1	2,500	18.1	2,500	15.1	2,500	80.1	159.34

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	17,710,000株	29年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	2,016,149株	29年12月期	2,020,052株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	15,690,310株	29年12月期3Q	15,690,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自平成30年1月1日至平成30年9月30日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が継続し、世界経済においても底堅く推移しました。しかしながら、米国の通商政策を巡り、中国を始めとする世界各国との貿易摩擦が懸念され、各国・地域における政治的・地政学的リスク、金融資本市場の変動、原油価格の動向など、引き続き注視が必要な状況が続いております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、長期経営計画“INNOVATION 25”の達成を目指し、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な事業活動を推進した結果、売上高は371億8千1百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は17億1千5百万円（同8.9%増）、経常利益は18億2千6百万円（同12.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億8千1百万円（同128.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①化学品事業

売上高は262億9百万円（同0.7%増）、セグメント利益は15億2千3百万円（同19.3%増）となりました。

主力の繊維加工用薬剤の販売が日華化学（中国）有限公司、広州日華化学有限公司、NICCA VIETNAM CO., LTD. で好調であったことにより売上高が増加しました。

また、NICCA KOREA CO., LTD. において収益性の高い製品の販売が伸びたことに加え、原料・運賃等のコスト増要因への対策として国内でのコスト最適化活動を継続的に推進した結果、セグメント利益も増加しました。

②化粧品事業

売上高は103億2千万円（同13.9%増）、セグメント利益は16億4千8百万円（同9.2%増）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいて主力ヘアケアブランド拡販に注力したことにより、当社及びイーラル株式会社の国内サロン向け化粧品の販売が増加しました。また、山田製薬株式会社における化粧品ODM事業や、DEMI KOREA CO., LTD. における販売も引き続き好調であったことにより売上高及びセグメント利益が増加しました。

③その他事業

売上高は6億5千1百万円（同63.5%増）、セグメント利益は3千6百万円（同175.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、31億2百万円増加し、581億9千7百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産が減少する一方で、現金及び預金、有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、9億4千9百万円増加し、344億2千9百万円となりました。主な要因は、短期借入金が増加する一方で、長期借入金、その他流動負債が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、21億5千3百万円増加し、237億6千7百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が減少する一方で、利益剰余金、非支配株主持分が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の34.3%から34.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,987	10,995
受取手形及び売掛金	10,774	10,492
商品及び製品	3,634	4,090
仕掛品	664	903
原材料及び貯蔵品	2,937	3,327
その他	2,348	1,439
貸倒引当金	△13	△17
流動資産合計	28,333	31,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,384	12,920
機械装置及び運搬具（純額）	2,470	2,343
土地	6,153	5,365
その他（純額）	749	3,164
有形固定資産合計	22,758	23,794
無形固定資産		
のれん	20	12
その他	526	491
無形固定資産合計	546	503
投資その他の資産		
その他	3,459	2,669
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	3,456	2,667
固定資産合計	26,761	26,966
資産合計	55,094	58,197

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,110	6,235
短期借入金	17,680	10,552
未払法人税等	262	452
賞与引当金	646	429
厚生年金基金解散損失引当金	494	-
その他	2,906	3,950
流動負債合計	28,102	21,619
固定負債		
長期借入金	1,495	8,680
退職給付に係る負債	2,939	2,955
株式報酬引当金	40	64
その他	903	1,109
固定負債合計	5,377	12,810
負債合計	33,480	34,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	3,054	3,054
利益剰余金	13,237	15,067
自己株式	△1,479	△1,476
株主資本合計	17,711	19,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621	538
為替換算調整勘定	750	366
退職給付に係る調整累計額	△160	△135
その他の包括利益累計額合計	1,211	768
非支配株主持分	2,691	3,454
純資産合計	21,614	23,767
負債純資産合計	55,094	58,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	35,494	37,181
売上原価	24,083	25,057
売上総利益	11,410	12,124
販売費及び一般管理費	9,836	10,409
営業利益	1,574	1,715
営業外収益		
受取利息	22	37
受取配当金	39	43
持分法による投資利益	40	39
助成金収入	61	31
その他	131	117
営業外収益合計	294	269
営業外費用		
支払利息	62	51
為替差損	58	18
売上割引	68	67
その他	50	21
営業外費用合計	239	158
経常利益	1,629	1,826
特別利益		
固定資産売却益	0	3,593
投資有価証券売却益	108	—
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	32
補助金収入	72	143
特別利益合計	182	3,769
特別損失		
固定資産除却損	11	4
固定資産売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	1
特別功労金	2	—
減損損失	22	—
特別損失合計	37	6
税金等調整前四半期純利益	1,774	5,589
法人税等	716	2,270
四半期純利益	1,058	3,319
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	1,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	909	2,081

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日）
四半期純利益	1,058	3,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138	△83
為替換算調整勘定	160	△419
退職給付に係る調整額	54	24
その他の包括利益合計	353	△477
四半期包括利益	1,412	2,841
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,197	1,638
非支配株主に係る四半期包括利益	214	1,203

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,035	9,060	35,095	398	35,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	18	19	92	112
計	26,035	9,079	35,115	491	35,606
セグメント利益	1,276	1,509	2,786	13	2,799

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,786
「その他」の区分の利益	13
セグメント間取引消去	8
全社費用（注）	△1,233
四半期連結損益計算書の営業利益	1,574

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに含まれない全社資産において、22百万円の減損損失を計上しております。これは、共用資産である倉庫等の取壊しの決定に伴う減損によるものです。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成30年1月1日至平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,209	10,320	36,530	651	37,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	3	3	188	191
計	26,209	10,324	36,533	839	37,373
セグメント利益	1,523	1,648	3,172	36	3,208

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,172
「その他」の区分の利益	36
セグメント間取引消去	△20
全社費用（注）	△1,473
四半期連結損益計算書の営業利益	1,715

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。